

## 循環器内科に通院中の患者さまへ

当院では、大分県の事業として心不全ポイントを用いて心不全の管理を行い、再入院を抑制するシステム作りを行っています。当院ではさらに下記のような臨床研究を開始することで心不全治療の発展に貢献し心不全の再入院を抑制する仕組みづくりを行っていきたいと考えています。

私たちは可能な限り皆様のご協力を得たいと思っております。ご質問がある場合、またはこの登録事業に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。但し、すでに解析を終了している場合等、本データから患者様の情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

### 【研究課題名】

心不全治療に対する統合的解析

### 【責任者】

南海医療センター 循環器内科 柳井 陽介

### 【共同研究者】

南海医療センター 循環器内科 矢野 雄大  
循環器内科 小野 佑馬  
循環器内科 川野 潮織  
6病棟看護師長 長嶋 祥子  
6病棟看護副師長 江口 さおり  
谷口ひとみ  
6病棟看護師 大垣 香菜  
成水 友香  
相沢 茉莉花  
8病棟看護副師長 村上 菜穂  
5病棟看護師長 成田 志乃  
NP 深江 裕美  
外来副師長 伊東 遥  
理学療法士 渡邊 信一郎  
大石 賢介

### 【研究の目的と意義】

研究目的

研究目的：現在全国的に高齢化が進み心不全パンデミックと呼ばれる時代となっている。心不全は一度発症すると再入院を繰り返すことが知られており再入院の抑制は喫緊の課題で

ある。佐伯市は全国平均と比較しても特に高齢化が進んでおりすでに高齢心不全入院が増加している。今後もさらなる増加が予想されるが2021年より大分県では全県的な取り組みとして心不全ポイントが導入されている。心不全ポイントとは患者教育と自己管理指導を軸とした心不全の再入院を抑制するための取り組みであり心不全に対する薬物療法（GDMT（Guideline directed medical therapy））と合わせることでより強力に心不全の再入院抑制に寄与できる可能性が示唆されている。当院では入院中の多職種連携による患者教育に加え退院後も訪問看護の導入などで在宅復帰後もサポートできる体制を整えており、心不全の再入院抑制に対する多職種連携の取り組みとしては県内でも最先端の取り組みを行っていると思われる。

一方で超高齢患者さんの増加は従来の薬物療法のみでの対応では対応が困難となっているのが現状である。心不全ポイントを導入後は夜間の心不全再燃による再入院は減少傾向ではある。一方でGDMTも進歩しており心不全再入院の抑制に寄与していることは疑いがない状態である。しかし、心不全ポイントの導入後も再入院を繰り返される方も存在しており服薬アドヒアランスをはじめとした自己管理不徹底に対する問題の解決策として訪問看護の導入を行ったり、介護保険の導入による介入を行ったり、地域の薬剤師との連携などにより退院後の管理まで介入を始めているが実際に何が心不全の再入院の抑制に有効であったかはまだ不明である。

高齢化が進む中で心不全患者に対する再入院の抑制への介入は近々の課題である。一方で心不全という疾患の性質上個々人に対する介入が異なるのが疾患の特徴であり当院の心不全入院の方の傾向を解析することで心不全パンデミックに対する対応方法がより明確化され再入院抑制に寄与し今後の高齢心不全患者さんの診療に貢献できると考える。

#### 研究意義

心不全患者さんへの対応は高齢化により従来の薬物療法のみでは対応が困難なケースが増えており薬物療法だけでなくノートを用いて多職種連携に基づく心不全指導の有効性、地域連携などを検証することで今後の心不全診療に役立てていく。

#### 【対象となる方】

当院に心不全で入院され治療を行った方

#### 【方法】

本研究は、当院に心不全で入院された患者さん全員を対象としつつ特に心不全ポイントを導入された方を軸に患者背景、血液検査、心電図、心臓超音波検査、CT、RI検査、カテーテル検査、薬物療法、多職種連携の有無、地域連携の有無、訪問看護の有無ならびに退院後の再入院や予後に関する情報をデータベースに登録し、その統合的解析を行います。

#### 【研究期間】

2025年4月以降に入院された心不全患者さんを対象に行います。2027年3月31日までに入院された方が対象ですが研究の中で新たな知見が得られた際は延長の可能性があります。

**【研究データについて】**

基本的には今回の研究のためにデータを使用しますが今後新たな知見が出で新たな研究を行い際に本研究のデータを流用させていただく可能性があります。

**【利益相反】** なし

**【個人情報の取り扱い】**

患者様を識別することができる項目は移行されることはありません。データの集計、解析においては、患者様を識別することができる項目が除かれたデータを用いて行います。

**【同意の撤回】**

この研究に賛同を得られない方は撤回は可能です。その際は遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。但し、すでに解析を終了している場合等、本データから患者様の情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

**【問い合わせ等の連絡先】**

JCHO 南海医療センター 循環器内科 柳井 陽介

住所：大分県佐伯市常盤西町7-8

電話番号：0972-22-0547

メールアドレス：《窓口メールアドレス》

当院を利用する患者様に上記を広く公開します（※）。

※「公開」とは、広く一般的に研究を実施する旨を知らせること（不特定多数の人々が知ることができるように発表すること）をいい、公開に当たっては、情報の取り扱い状況に応じ、合理的かつ適切な方法を指します。

- 事例1 ホームページのトップページから1回程度の操作で到達できる場所への掲載
- 事例2 患者様が訪れることが想定される場所におけるポスター等の掲示、パンフレット等の備置き・配布